

4.29反「昭和の日」行動

民主党政権の登場は、政治的・軍事的な「対米従属」をあからさまにし、戦争責任・植民地責任を居直り続ける自民党政治からの「転換」の始まりを意味するのではないかという「期待」を、少なからぬ人びとに与えた。しかし半年がたったいま、そういう動きとは真っ向から対立する動きが、政権中枢から次々と現われている。

「韓国併合100年」にあたる今年、天皇の訪韓による「和解」という政治スケジュールが浮上した。右派勢力のバックラッシュも根強く、それが実現するかどうかは不透明だが、植民地支配の歴史的責任を負った天皇制の存在をそのままにして、双方の国家が「和解」をするセレモニーは欺瞞であると、われわれははっきり言わなければならない。敗戦にも関わらず、天皇制は象徴天皇制というかたちで温存され、日本の近代を作りだした植民地主義もまた温存された。戦後体制の要としての安保体制の構築のためには、天皇ヒロヒト自身が積極的な役割を果たしたのだ。サンフランシスコ講和条約と安保条約が発効し、沖縄が「本土」から切り離され、日本に暮らす旧植民地出身者の日本国籍が一方向的に剥奪された4月28日、そしてヒロヒトの誕生日であり、その死後「みどりの日」を経て「昭和の日」となった4月29日という2つの日付をあらためて思い起こし、4・28～4・29の行動を連続的にとりくんでいこう！



集会のあと
デモ予定

お話

あんざこ
庵途由香さん(朝鮮近現代史)

日時

2010年4月29日(木・休) 13時15分開場(13時半開始)

場所

恵比寿区民会館(JR・地下鉄日比谷線 恵比寿駅 徒歩5分)

資料代

500円

主催

4.29反「昭和の日」行動実行委員会

千代田区三崎町3-1-18 近江ビル4F 市民のひろば気付
落合ボックス TEL:090-3438-0263

呼びかけ
団体

アジア連帯講座/国連・憲法問題研究会/立川自衛隊監視テント村/
反天皇制運動連絡会/「日の丸・君が代」強制反対の意思表示の会/
連帯社/労働運動活動者評議会

4月28日

60年安保50年目の沖縄デー(4.28)に「安保と沖縄」を考える

お話:新崎盛暉さん(一坪反戦地主会) 場所:文京区民センター(地下鉄春日・後楽園駅すぐ)

日時:4月28日(水) 午後6時開場 主催:新しい反安保行動をつくる実行委員会